

## 地域計画(案)

策定年月日	令和7年3月31日
更新年月日	( )
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	養父市 (28222)
地域名 (地域内農業集落名)	万久里 (万久里)

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

## 1 地域における農業の将来の在り方

## (1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	6.0 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.0 ha
② 田の面積	5.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	0.3 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0.0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	5.6 ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	2.2 ha
(備考)	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積(現況地目)に基づき記載してください。

3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5:(参考)の区域内における70才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

## (2) 地域農業の現状及び課題

- 令和2年度に「いきいき農地バンク制度」を活用し、87%の農地を認定農業者、地区農業者に集積している。今後は、農業を担う者が効率的な農業経営ができるよう集約化等の調整が必要。
- 担い手(認定農業者)は水稻、大豆、野菜栽培、他の農業者は水稻栽培が主である。
- 農業を担う者が高齢化しており、後継者の育成が必要である。
- 農業者の高齢化と減少が進んでいる。地区全体で農村環境保全を維持していく体制づくりが課題。
- 基盤整備が未了の農地が一部残っており基盤整備や農道整備を検討する必要がある。

## (3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

- 当地区は、認定農業者と地区内農業者による水稻、露地野菜栽培が中心であり、今後も継続する。
- 次世代の担い手や農業者が栽培しやすい高収益作物を検討する。(ニンニク・枝豆等)
- 生産者と販売者の連携を図る。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
○認定農業者並び地域農業を担う者への集積・集約化を図っていく。 ○農業者間で農地交換を検討し集約化を推進する。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	54 %	将来の目標とする集積率	60 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
○担い手(認定農業者)が利用する農地面積は297a(令和5年度時点)である。 今後は農地中間管理機構を通じて集約化を進めていく。集約化に向けては、地区内地権者の合意を得ながら推進していく。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組			
○地区内農地の88%は農地中間管理機構に農地を貸し付け再配分している。 今後は農業者が諸事情により営農継続が困難になった場合は、地域の農業を担う者に移転を進めていく。			
(2) 農地中間管理機構の活用方法			
○農地の88%は農地中間管理機構を活用している。 ○引き続き農地中間管理機構への貸付けを推進し、担い手(認定農業者)や農業を担う者への集約化を進める。			
(3) 基盤整備事業への取組			
○現状では基盤整備の必要性はないが、用排水路、農道の老朽化が進んでいるため、補修等の改修を検討する。			
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組			
○担い手は事業継承者の育成に努める ○地域農業者数が減っているため、新たな担い手を地区外からも確保する。 ○農地保全活動を通じ、地区内で農業を担う者を育成する。			
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組			

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input checked="" type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組内容】

- ①年4回鳥獣害進入防止柵の点検を行う。
- ②環境に配慮した農作物づくりに切り替えていく。
- ⑦多面的機能支払交付金を活用し農道、水路の保全活動に取り組む。



4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 16 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
1	認農 利用者	水稲・野菜等	2.91 ha	ha	水稲・野菜等	2.91 ha	ha	青	
2		水稲	1.64 ha	ha	水稲	1.87 ha	ha	黄	
3		水稲	0.29 ha	ha	水稲	0.00 ha	ha	灰	
4		水稲	0.22 ha	ha	水稲	0.30 ha	ha	緑	
5		水稲	0.17 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	灰	
6		水稲	0.16 ha	ha	水稲	0.16 ha	ha	緑	
7		水稲	0.13 ha	ha	水稲	0.17 ha	ha	緑	
8		水稲	0.12 ha	ha	水稲	0.12 ha	ha	緑	
9		水稲	0.10 ha	ha	水稲	0.00 ha	ha	緑	
10		野菜	0.07 ha	ha	野菜	0.07 ha	ha	緑	
11		野菜	0.06 ha	ha	野菜	0.00 ha	ha		
12		野菜	0.05 ha	ha	野菜	0.00 ha	ha		
13		野菜	0.04 ha	ha	野菜	0.00 ha	ha	灰	
14		稲作	0.00 ha	ha	水稲	0.19 ha	ha	緑	
	14経営体		5.96 ha	ha		5.96 ha	ha		